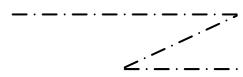


平成23年度当初予算について



平成23年4月

I. 予算編成について***

日本経済・社会情勢は依然として厳しく、先行き不透明な状況にあります。地方の政治、経済は足踏みをすることは許されない「待ったなし」であり、経済の活性化に合わせた雇用対策や産業振興対策、子育て、福祉施策など、安心して安全な町づくりに努めなければなりません。

平成23年度は「第10次三朝町総合計画」のスタートの年であり、この総合計画で掲げている「心豊かで“キラリ”と光る町」の実現に向けて定めた、「挑戦」「共生」「自立」の3つの基本理念に沿って、着実に第一歩を踏み出すことができるよう施策の組み立てを行いました。この3つの理念に4つのキーワード「はたらく」「すむ」「かかわる」「つなげる」を掲げ、これに沿った事業や国の施策を活用した景気浮揚対策、雇用対策を積極的に取り組んでいくこととしています。

II. 予算の規模及び主な事業***

平成23年度当初予算の総額は 4,239,000千円です。

(前年度に比べ 99,000千円 2.3%の減)

主な事業と取組みの概要・・・

1. はたらく・・・皆が“誇りをもって活躍できる”町

◎観光と農林業の連携を推進することで雇用対策の充実を図ります

三朝温泉や三徳山など、町の地域資源を活かした観光客の誘致活動を国内外で展開するため、外国人観光客誘致対策事業として320千円、国内交流都市観光客誘致対策事業に118千円、三朝温泉で撮影された映画「恋谷橋」の上映に併せて三朝温泉をPRするための映画広報宣伝支援事業として1,000千円、観光関連産業の振興を図るために観光振興地域交付金3,231千円としています。

また、三朝米ブランド化支援事業333千円、おいしい三朝米生産農家育成事業補助金3,750千円などにより、特別栽培米の生産を通じ付加価値の高い米のブランド化を目指し、個別所得補償制度の運営主体として「三朝町農業再生協議会」を組織し、地域農業の再生に向けた活動を展開します。また、イノシシやカラスなどの被害対策として行う鳥獣被害対策事業として19,873千円、森林環境の保全のためのナラ枯れ被害対策に4,500千円、森林景観対策事業2,000千円、枯松伐

採促進事業 500 千円、昨年に引き続き行う緑の産業再生プロジェクトでは、間伐や森林の境界明確化を行い森林資源を活用した林業・木材産業の再生を行います。

雇用対策では、県が造成した基金の活用で行う「ふるさと雇用再生事業」として 3 事業 19,152 千円、緊急雇用創出事業に 16 事業 49,745 千円、若年層の雇用の拡大と地元への定住を図るため、三朝町新卒者雇用奨励事業 2,520 千円を新たな事業として計画しています。

2. すむ・・皆が“安全で安心して暮らす”町

◎子育てや福祉、教育の充実を図り、安心安全な暮らしを守ります

中学校での英語教育充実のための外国人指導助手の配置に 4,897 千円、小学校における複式学級解消のために 6,524 千円、小中学校へ特別支援員の配置に 4,505 千円、小中学校の運営費として 35,460 千円、児童生徒への遠距離通学費補助など小中学校教育振興費として 16,783 千円などとしています。

また、放課後児童対策費（東小・西小・南小）14,287 千円、病後児保育事業 272 千円、地域子育て支援センター事業 1,991 千円、乳幼児に加えて中学 3 年生へのインフルエンザ 接種助成 422 千円、子ども手当給付費 130,457 千円、子宮頸がん・H i b ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの接種助成 5,223 千円、子育てをする保護者が仕事と育児を両立し安心して子育てが出来る環境づくりのためにファミリーサポートセンターを設立しました。また、保育料は昨年と同額に設定し乳幼児世帯の軽減を図るとともに、引き続き就労の支援を行います。

障がい者の方の自立した生活を支援する事業費として 153,960 千円、老人福祉対策費 77,585 千円、身体障がい者の方や小中学生、特定疾病の方などの医療費を助成する特別医療給付費 39,460 千円、女性特有のがん検診事業に 1,209 千円、胃がん検診の受診率を上げるため、特定年齢（60 歳）の方の自己負担金を無料とするなどの特定健診推進事業費として 12,663 千円など、町民の健康づくりを推進します。

道路整備事業 30,900 千円、道路新設改良事業費 6,450 千円、道路・橋梁整備事業費 24,000 千円、消防自動車の更新 22,987 千円、防火水槽の設置 5,794 千円、除雪対策費 58,664 千円などにより、町民の安全・安心を図っていきます。

3. かかわる・・皆が“主役で地域を大切にす”町

◎次世代につながる人材育成、地域づくりを推進します

マル・ル・バソ町との友好姉妹都提携 20 周年を記念して、両町代表団の受入 1,731

千円、派遣事業 5,327 千円、中学生による手作りの訪仏事業 3,557 千円などを行い、両町のさらなる友好交流を図ることとしています。

町内6つの地域協議会へ 9,000 千円、地域自主活動拠点施設管理費 5,466 千円、パワーアップ交付金 2,000 千円などにより、地域活動を支援します。

生涯学習の拠点施設の図書館経費 15,915 千円、学校支援推進事業 1,254 千円、人権教育推進員 1,152 千円、人権・同和対策事業 1,065 千円、男女共同参画事業 97 千円などにより、ひとりひとりを大事にし、一生涯継続して学習することの出来る環境づくりを行います。

また、スポーツ活動の推進として、本年度は三朝町で郡民体育大会が開催されるため、その選手強化や育成を推進するため体育協会への委託金として 4,715 千円、三朝町スポーツ少年団の育成として 607 千円などを計上しています。

4. つながる・・皆が“連携による効率的な”町

◎情報化を積極的に推進し、中部圏域の市町と連携を図ります

中部ふるさと広域連合負担金として 168,156 千円、後期高齢者医療負担金として 101,715 千円、定住自立圏事業として休日保育事業 84 千円、認知症にかかる支援体制整備事業として 64 千円など、中部圏域の市町と連携をもちながら事業をすすめます。

ふるさと納税を促進し（ふるさと応援寄附金特別経費 2,909 千円）三朝温泉の活性化を図ることとし、ケーブルテレビの配信等を安定的に行うため施設の更新業務を順次行う計画を含めた e-misasa エリアネットワーク事業 25,511 千円などを行います。